

心豊かに自ら学ぶ子を育む 創意と活力にみちた地域学校協働活動 ～一人ひとりが輝ける安心安全な地域・学校を目指して～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
生駒市立 あすか野小学校	生駒市立あすか野小学校学校運営協議会 令和2年6月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 4名 3名	あすか野小学校区地域学校協働本部



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

あすか野地区は、昭和50年代にできた新興住宅地域で、現在は高齢化が進んでいる。地域には、防犯防災等の組織があり、活動の活性化に努めていた。また、学校には社会に開かれた教育課程の実現に向けての地域の教育資源を積極的に活用したいという思いがある。そこで、既存の組織を生かしつつ、チームの再編成等を行い、社会に開かれた教育課程の実現と地域を活性化させたいという地域の思いをより学校運営に反映できるようにし、持続可能な組織作りに力を入れている。

目標や目指す姿(学校)

- ・活力にみちた学校
- ・一人ひとりが大切にされる学校
- ・創意と特性が活かされる学校

目標や目指す姿(地域)

学校を核として地域住民同士のコミュニケーションの機会が増え、つながりを深め、地域を活性化させる。



生駒市立あすか野小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自治会代表 | <input type="checkbox"/> 放課後子ども教室代表 |
| <input type="checkbox"/> 防犯防災会代表 | <input type="checkbox"/> 学校長 |
| <input type="checkbox"/> 民生児童委員代表 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 青少年指導委員 | など、計 10 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 保護者代表 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

多様な意見が出る協議にするため、様々な立場の委員を選出している。
委員には、学校や地域で活動している子どもたちの様子を参観する機会を設けており、目の前の子どもたちの教育課題を意識して協議ができるようにしている。
年度当初には、委員に対して学校運営協議会の役割について丁寧に説明することで委員が当事者意識をもって学校運営に参画できるようにしている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

上記の課題の解決にもつなげるために地域から放課後子ども教室を実施したいと声が上がった。当初は自治会館で行う予定であったが、学校運営協議会で話し合うことによって、学校の教室を利用して実施することになった。放課後子ども教室が始まってからは開催日数やスタッフの募集等について協議している。



学校運営協議会

地域学校協働活動

放課後の子どもたちの居場所づくり、体験活動等の場として、毎週月曜日の放課後に学校の多目的室又は体育館で放課後子ども教室を実施している。地域コーディネーターを中心とした地域主体の活動であり、民生児童委員をはじめ、様々な地域住民の参画を得ている。



放課後子ども教室

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

地域学校協働本部を立ち上げる際に、従前の組織を「放課後子ども教室」「見守り活動」「教育活動支援」「環境整備」の4つのチームに再編成した。地域コーディネーター4名のうち3名を学校運営協議会の委員にすることで、協議された結果をそれぞれのチームの活動に反映することができている。地域コーディネーター同士の関係性も深まっており、チームごとの活動が基本ではあるが、内容によってはチーム間で連携して活動もしている。また、ホームページを活用して取組内容を地域に発信している。

取組

成果・効果

指標	地域の人やゲストティーチャーの方としっかり学習できた(児童)	子どもたちは、ゲストティーチャーや体験学習からよく学んでいる(保護者)	ゲストティーチャーを招くなど、体験学習等を通してよく学ばせている(教職員)
R2	75 %	68 %	76 %
R3	85 %	76 %	80 %

※指標は学校評価アンケートの肯定的な評価の割合

〔学校や参画する地域住民等の声〕

- ◆子どもたちが「楽しかった。もう1回やりたい。」と言ってくれるので、やりがいを感じている。(地域)
- ◆これからも子どもに様々な体験活動をさせたい。(保護者)
- ◆様々な視点から話をしていただけありがたい。これからも地域と協働した体験学習を実施していきたい。(教職員)

- ◆地域が教育活動に参画することで子どもたちの学びが深まっている。
- ◆放課後子ども教室では、子どもたちが地域の人たちとのつながりを深めながら、地域への愛着を持てるような体験的な学習を行うことができる。
- ◆地域学校協働活動を通して地域住民のコミュニケーションの機会が増え、つながりが深まり、地域の活性化へ反映されている。
- ◆学校運営に当事者意識を持って参画する人が増えている。
- ◆従前からある組織を土台とした組織編成を行うことで、それぞれの活動を見直し、改善できている。